

群馬ゆかりの偉人シリーズ

小栗上野介

群馬大学大学院保健学研究科

内田陽子

(写真は道の駅くらぶち小栗の里の展示物・内田陽子撮影)



誕生から青年期

- 1827年（江戸時代：文政十年）江戸神田駿河台で生まれる

- *政敵西郷隆盛もこの年に鹿児島で誕生

- 安積良斎（あさかごんさい）の塾生
（高杉晋作・岩崎弥太郎・楫取素彦等を輩出）

- 親友は栗本鋤雲（くりもとじょうん）

- 文武両道（ぶんぶりょうどう）

市川光一・村上泰賢、小板橋良平、小栗上野介、みやま文庫、平成28年、第3刷、p6-7

- 写真は東善寺の庭・小栗上野介の隣に栗本鋤雲の像が並んでいる（写真：内田陽子）



小栗上野介と栗本鋤雲の像
代化に尽力 明治以後報知新聞主筆
として活躍 この胸像は鋤雲の門人
犬養毅が作らせ御蔵島に蔵置せられ
る石膏像を原形とする 著「範庵遺稿」
昭和三十一年五月六日
元海軍建築局長吉田直殿建贈
*横濱市博物館前庭の像はこの胸像を複製

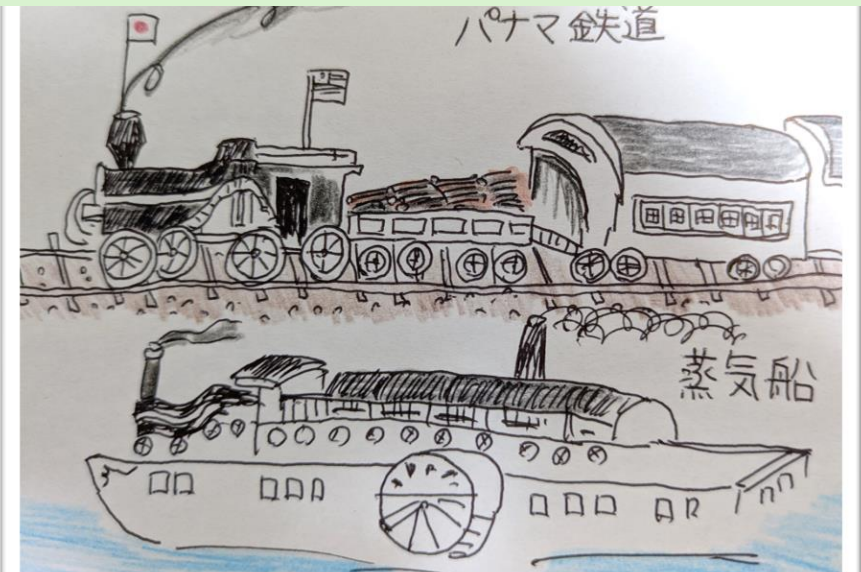
日本人初の世界一周の旅

- 大老：井伊直弼に抜擢
- 1860年：遣米派遣（以下、見学学習した事項の一部）
 - パナマ鉄道
 - ホテル宿泊・水洗トイレ
 - ホワイトハウス・大統領に会う
 - スライド上映会・大舞踏会
 - 汽車を蒸気船で渡す
 - 帰路（喜望峰）では奴隷売買・清国人の扱い
 - ワシントン海軍造船所
 - 持ち帰ったネジ
- * 国内の改革の立ち遅れを痛感

市川光一・村上泰賢、小板橋良平、小栗上野介、みやま文庫、平成28年、第3刷、p11-36から内田陽子がまとめる



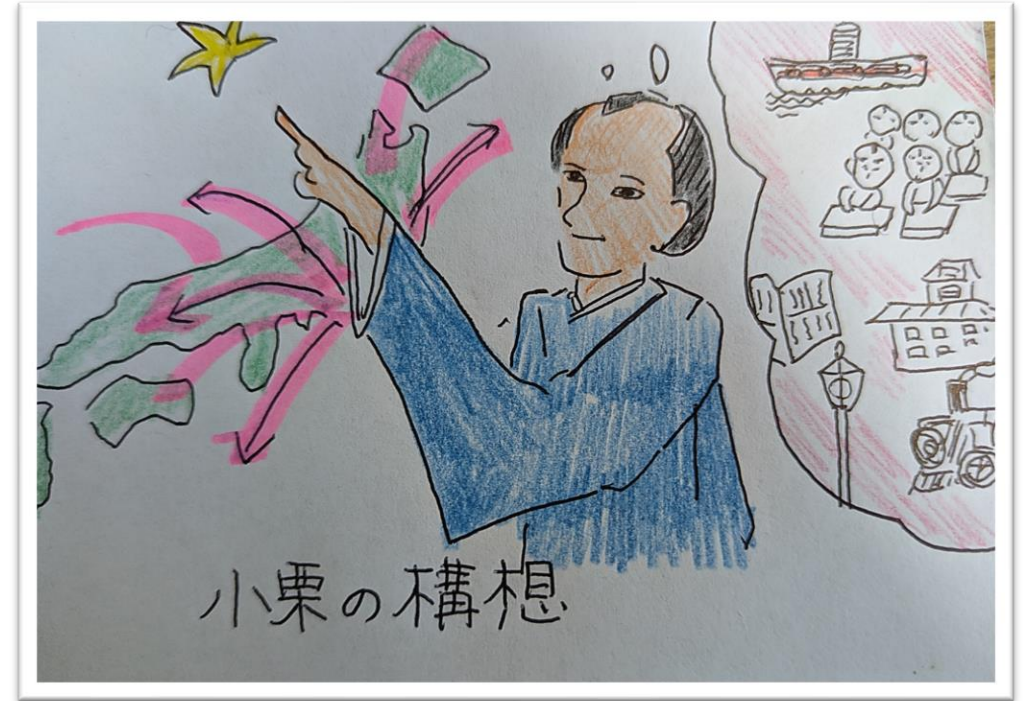
小栗上野介の寺 東善寺、遣米使節三船、p10、p16、2012 の図を基に内田陽子が模写



日本での改革構想

- ・ 滝乃川火薬製造所・反射炉の建設
- ・ 小石川大砲製造所の建設
- ・ 下仁田町中小坂鉄山の試堀
- ・ 歩兵・騎兵・砲兵の編成と陸軍教育の充実
- ・ フランス語学校
- ・ 日本最初の株式会社「兵庫商社」の設立
- ・ 「築地ホテル」の建設
- ・ 中央銀行の設立計画
- ・ 新聞の発行計画
- ・ ガス灯の設置の建議
- ・ 郵便・電信事業の建議
- ・ 鉄道（江戸ー横浜間）の建設

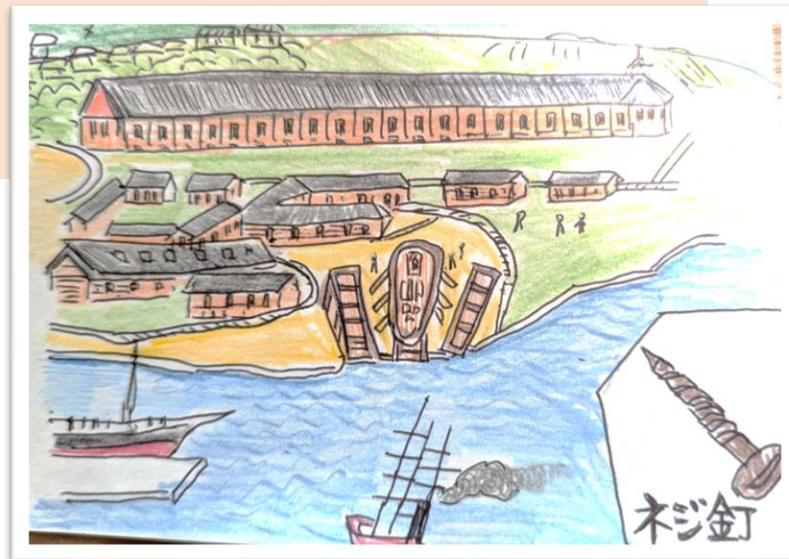
市川光一・村上泰賢、小坂橋良平、小栗上野介、みやま文庫、平成28年、第3刷、p58



海外視察から日本への構想を示す
頭脳と行動力はすごい！ 絵：内田陽子

横須賀造船所の建設

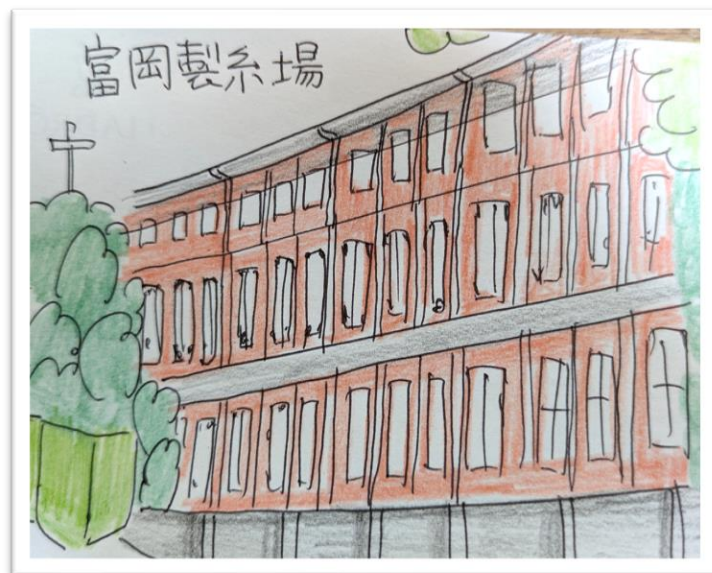
- ・ワシントン海軍造船所は近代総合工場
あらゆる鉄製品（造船・大砲・製帆・製綱プ
ロペラ・ネジなど）を蒸気のでつくる
それを日本の横須賀に建設



小栗上野介の寺 東善寺、日本近代化の源泉・横須賀造船所、p9、2014
の図を基に内田陽子が模写・中島飛行機の図は内田陽子が調べて書く

- 影響を与えた
→ 富岡製糸場

→ 中島飛行場



2027年大河ドラマ「逆賊の幕臣」 本当に逆賊なのか？

- 幕府解散・明治維新となり、小栗は上州権田村に移る
- 小高用水を引いたり、人材教育に力を注ぐ
- しかし、西軍により無実の罪で斬首される・家財も没収された
- 小栗夫人は苦難の末、静岡に送り届けた先人の無償の義孝（小栗上野介顕彰の原点）
- 小栗家用人塚本氏の一家は不運に見舞われる（姉妹観音）
- **本当に小栗は逆賊なのか？きちんと学習して自分で判断してほしい**
- 写真は顕彰慰霊碑・小高用水 内田陽子撮影
- 下の絵は「姉妹観音」内田陽子作

